

発行：地域創生課

『まずは、やってみよう!』

今回の地元からの参加者は、昨年度から引き続きの参加者に加え、新たに参加された方を含めた29人でした。

今回は第3回で決定した2つの取組（川清

掃・防災訓練

について、4グループに分かれ、日程・場所・参加者・内容など、具体的な意見交換を行いました。初めて参加された方も積極的に発言されていました。



意見交換の内容

【ホタルの川づくり】

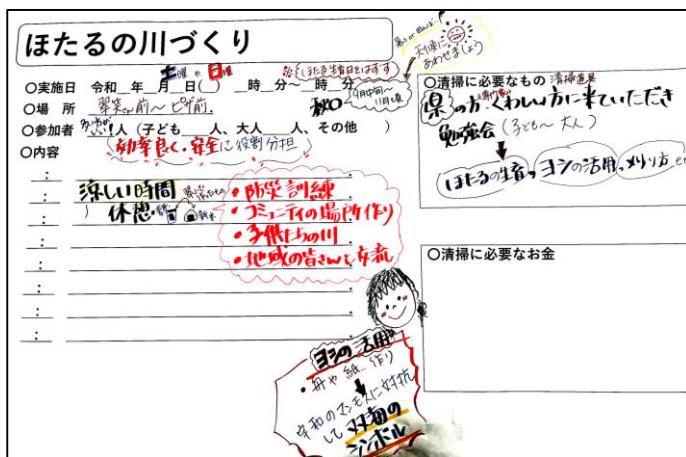
「6・7月は、ホタルが産卵や孵化（ふか）をするから避けた方がいい」

「場所は翠小前の橋からピザ焼きまでかな」
「刈ったヨシの処分をどうする。ヨシは強いから、置いていたら節から芽がでるぞ」

「休憩は、翠小がつくっている麦茶を飲んで翠産のお米のおにぎりを食べるのはどう」

「川やホタルの勉強会をしたらどうか」

「ゴミ拾いなら、子どもや女性も参加できるよね」



【防災訓練】

「土・日曜日で時間は半日ぐらいかな」
「運動会とか学校行事とあわせてみては」
「地域行事や公民館行事は避けるといいな」
「能登地震派遣職員の話を知りたいな」
「身近なものでつくる防災グッズづくりをしてはどうかかな」

「簡易トイレや防災食を体験しては」
「各集落の取組を紹介したらどうか」

※出た意見については裏面にまとめています



今回のまとめ

今回の意見交換会は、職員を含めるとこれまでで一番多い38人でした。

翠地区では今回も、各テーマについて参加者一人ひとりが自分の考えや意見を出し、それらをみんなで共有・共感しながら内容を深めていくという、基本的なおろそかにせず、話し合いがきちんと行われています。

今後、この話し合いの過程（プロセス）を大切にしながら「できる人ができることをまずやってみる」を実践していきたいと思えます。

■出た意見をまとめました

防災訓練 ～地域の命を地域で守ろう～

日 程	・土曜日か日曜日 ・半日が妥当 ・運動会などの学校行事にあわせたらどうか（先生方が大変では？） ・公民館行事や地域行事を避けよう
場 所	・翠小学校（ 粒野・犬寄・高見・東峰は、翠小に避難しないけど防災意識を高めるために ）
参加者	・120人（子ども20人、大人100人） ・高齢者や要支援者の参加はどうする（しっかりと検討する必要あり）
内 容	・避難訓練 ・防災意識を高めるための勉強会 ・防災研修（日ごろから準備、発災後の生活） ・能登地震派遣職員の報告 ・大雨・地震体験カーでの体験 ・簡易トイレ・テント・段ボールベッド体験 ・身近なものでつくる防災グッズ（防災ずきん、スリッパ、担架） ・翠地区の各集落の取り組み紹介 ・防災食の試食

ほたるの川づくり ～ほたるも喜ぶ美しい川に～

日 程	・土曜日・日曜日 ・涼しい季節 ・9・10・11月（6・7月はホタルの産卵や孵化があるから避けるべき） ・翠小運動会から秋祭りまでの間
場 所	・桜デッキからピザ焼きまでの約100m
参加者	・子どもも大人も参加できるイベントに
内 容	・ヨシの除去（処分場所どうする） ・ヨシを何かに活用できないか（西予のマンモス、和紙、すだれ） ・ゴミ拾い ・翠小がつくった麦茶の提供 ・翠産米のおにぎりで昼食 ・生き物観察 ・川の勉強会（ホタルの生態、清掃の重要性、環境保全の在り方、ヨシの刈り方）

「まずはやってみよう！」の第一弾として、第5回は翠地区全域を対象とした防災訓練・防災学習について話し合います。

参加希望者はお気軽にご連絡ください。

■日時 令和6年6月26日(水) 18:30～

■場所 翠小学校ランチルーム

■申し込み

☎089-986-1111

（集落支援員：森田）

✉chikisousei@city.iyo.lg.jp

〈第5回 翠地区意見交換会〉

翠地区に関係のある方はだれでも参加できます。（オンライン可）

A



B





	A：ダンチク	B：セイタカヨシ
葉	葉の途中から垂れ下がることが多い	斜め上に向かってピンと立っている
株	株が半球のような形で広がる	まっすぐ直立して群生する

上灘川に生えている『ヨシ』はどっち？